

ソングリーダー

お祝い報告

委員会報告



指揮：川本会員



お誕生日のお祝い：伊藤会長

社会奉仕委員会 相原聡委員長／  
絵画コンクールについて  
2018-19年度会計 古木通夫会員／  
前年度決算報告



スマイルBOX

本日 ¥11,000 累計 ¥82,000

◆会長 伊藤彦二会員、幹事 松川健治会員／①植松朗代様、本日は暑い中、大和RCに来て頂きありがとうございます。②佐々木会員、戸張会員、本日の卓話宜しくお願いたします。③私の76歳の誕生日祝って頂きありがとうございます。

◆道岸唯一会員／むすむし暑い梅雨も過ぎ本格的な夏が来たようです。これからは熱中症にならぬよう気を付けましょう。

◆佐々木和夫会員／本日は、植松さん、ようこそいらっしやいました。ロータリーを楽しんで下さい。

◆古木通夫会員／梅雨明け！いよいよ…草との戦い！熱中症に気を付けます！

◆長谷川衛会員／梅雨明けと同時に、外に出れば暑い暑い汗。これからは夏本番、体を冷やさないようにして乗り切るか！！

◆初山豊会員／蒸し暑い梅雨が終わったと思ったら酷暑ですね。皆さん体調管理に配慮

して下さい。  
◆増正之会員／スマイルに協力ありがとうございます。

◆伊藤健司会員／大和の夏の風物詩「神奈川阿波踊り」が無事に終わりました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

◆相原聡会員／私の奥様、夕佳がガーデンホーフ光子の半生を描いた、さわかみオペラ財団日本語オペラ「MITSUKO」プロジェクトコンペティション台本部門の予選通過者4名にこの度選ばれました。国内海外より作曲者が募集され、4つの台本に曲が付けられます。楽しい物語をホームページよりご覧下さい。



スマイルBOX 増 委員

今後の情報	日付	時間	回数	プログラム内容
	8月 13日 (火)			取り止め例会 (祝日週)
	8月 20日 (火)	12:30	2683	第2回クラブ協議会「ガバナー公式訪問に備えて」
	8月 27日 (火)	12:30	2684	第1回クラブフォーラム「これからの会員増強について」
	9月 3日 (火)	12:30	2685	ガバナー公式訪問 第2780地区 杉岡芳樹ガバナー

例会日	会員数	出席	出席%	欠席	欠席者名	
7月 23日	31(7)	前々回	23	82.14	5	本田、森川、田辺、石井、川本
7月 30日	31(7)	前回	25	89.29	3	本田、田辺、上田
8月 6日	32(7)	本日				

大和ロータリークラブ 週報

Yamato Rotary Club Weekly

http://www.yamato-rc.org/



【大和ロータリークラブ活動方針： 知り合いを増やし、奉仕の機会を広めよう】

例会場 / 北京飯店 4F : 会 長 / 伊藤 彦二 幹 事 / 松川 健治  
 例会日 / 毎週火曜日12時30分～13時30分 : 会長エレクト / 富岡 弘文 副幹事 / 三浦 高義  
 事務局 / 大和商工会議所内 TEL046-263-7926 : 事務局 e-mail / jimukyoku@yamato-rc.org

第2681回 2019年7月30日(火)

司 会 / SAA 武田 茂 君  
 齊 唱 / 「四つのテスト」 S. L. / 川本 龍成 君  
 ゲ ス ト / 植松 朗代 様  
 ビジター / なし

会長の時間

伊藤 彦二 会長

<日本のロータリー>

わが国最初のロータリークラブは、1920(大正9)年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年1月に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ創立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織を作り、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三(きそ)次(じ)などの先達の功を忘れることが出来ません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものとなりました。

現在、日本全体でのクラブ数は2270、会員数約90,000人(2019年1月現在)です。



幹事報告

松川 健治 幹事

・出席免除申請書を提出される方は、お申し出ください。  
 ・会費の納入をお願いします。  
 ・ガバナー公式訪問(9月3日(火)例会後の懇親会に出席をお願いします)

【ポスティング】

・次第 ・週報 ・2018-2019年度決算報告

【回覧】

・タウンニュース ・寒川 週報  
 ・2019-2020年度地区大会ゴルフコンパ 登録のお願い

武田会員より「奇跡の醬」争奪クイズ

意外とわからない？都道府県の形。当たった方に震災から復活した「奇跡の醬」(しょうゆ)が進呈されました。



## 卓話 戸張 美穂 会員

## 「地区財団セミナー報告」

ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」です。国際ロータリーの目的を推進するための単独の信託機関でありまして、こちらの全財産を維持・投資・管理・運営をしております。

セミナーの中では、各取り組みについての報告がありました。

次世代の国際人を育成するために、ロータリー財団の活動の中に「財団奨学生」というものがございます。

ご存知のように、昨年11月に大和ロータリークラブでも、財団学友の遠藤君がご帰国され、ご報告の卓話をお聞きいたしました。

このようなお話を実際に聞きますと、ロータリー財団にできるだけ寄付をして、このような活動を支えたい、という実感がわいてまいります。

後は、各クラブが財団の活動をどのように行っているかの報告がありました。

秦野中RCは、「子どもの笑顔のための国際的奉仕プロジェクト」として、フィリピンへの水道施設建設支援を行った、という報告がありました。

小田原北RCは、「クラブを活性化する地域奉仕プロジェクト」として、小田原と福島県相馬市の高校生同士の交流会を行った、という報告がありました。

また、DDF（地区財団活動資金）の使い方として、日本は未使用の残高が世界の15%と高く、シェアシステムの意義を考えましょう、という話がありました。



地域社会や世界でよいことをする為に計画的に活用されてこそ、シェアシステムの意義があるのではないかと思います。という問いかけがありました。

今後、有効活用先として、ポリオ撲滅への寄贈、また、昨年設立された「日本ロータリー平和センター基金」というものもございます。

さらに新設された「災害救援基金」へもDDFを寄贈することができます。

また、ゲイリーCK. ホアン財団管理委員長もご来日されておられ、その中で「ギミーファイブ」という活動コンセプトについてお話がありました。

ロータリアンが昨年よりも5%多くを寄付し、5ドル多く寄付し、5人の友達に同じことを呼びかけよう、という内容です。

ゲイリー氏は日本のロータリアンとファンドレイジングについて親しく語る機会を希望されておりました。

以上、ご報告とさせていただきます。

## 佐々木 和夫 会員

## 「ロータリーカードの活用」

先ほど前年度会計の古木さんから報告があったように、昨年度花岡幹事のご提案でクラブ会報を会報委員会が編集し、事務局で印刷する事により約40万円節約できました、またクラブ活動計画書は会報委員会を中心に制作する事により約25万円節約できました。

これは直前会報委員長の富岡さんをはじめ吉岡さん、伊藤さん、松川さん、相原さん、三浦さんという会報委員全員の汗と英知の結晶でした。

さて、皆様ご承知の通り国際ロータリー設定の特別月間は7月にはありません。そこで大和ロータリークラブでは独自に7月を「ロータリーカード普及推進月間」としています。

最近、キャッシュレスが盛んに話題になっています。まだロータリーカードをお持ちでない方はスタンダードカードが良いので是非作って頂きたいと思います。スタンダードカードは年会費無料です。

ロータリーカードで支払いをすればその利用額の0.3%がロータリー財団に寄付されます。法人カードに至っては0.5%が財団に寄付されます。

ゴールドカードは年会費1万円ですがそのカード年会費の内3,000円が自動的に財団に寄付されます。

先ほどお話ししたクラブ活動計画書も会報委員会編集しインターネットで原稿を送りクラブのロータリーカードで支払って完成したものです。

また、毎年交流している姉妹クラブ台北七星ロータリークラブ訪問でも伊藤健司さんにクラブのロータリーカードで参加者全員分のチケットと宿泊代を払って頂きカードが活躍しています。

最近はお買い物をするのにインターネット注文が早くて便利です、そのような時に必要なのがカード決済です。

今日はオリエントコーポレーションのカード申込書を用意いたしました。

カード取得希望者は財団委員長の戸張さんから申込書を受け取って下さい。

この他ダイナースロータリーカードもありますが年会費22,000円です。

ロータリーカードを入手するその他の方法は国際ロータリーのホームページからマイ・ロータリーに

入り、会員コーナーからロータリークレジットカードの申し込みができます。皆様のお手元のチラシの裏に記載しています。

毎年11月は「ロータリー財団月間」になっており一人当たり240ドルの寄付が目標です。その前の月10月には米山奨学会への寄付で一人当たり2万円が目標です。このように2ヶ月連続して寄付が望まれますが、両者とも任意寄付なので、伊藤会長は「目標は設定するが個々に集金しない」とおっしゃっています。

しかし月間テーマはその月に強調する内容でありその月以外は無視して良いというものではありません。従って一年中考えておく必要があります。

米山奨学会については10月に強調し考える月です。

ロータリー財団も11月に強化月間としています。11月には今までロータリー財団委員が個々に依頼し寄付を募っていただきました。しかしロータリーカードを使えば任意の時期に任意の金額をマイ・ロータリーにログインして支払う事ができます。前期120ドル、後期120ドルに分けて寄付しても良いのです。

2ヶ月続いて米山と財団に寄付するよりも何か余裕ができた時にいつでも幾らでも寄付ができます。

お手元のチラシの裏側はマイ・ロータリーからロータリーカードを作るための画面ですが、カードが届いた後にロータリー財団への寄付を11月の財団月間ではなく年度内にご自分で都合の良い時に寄付する事ができ、集金して回る財団委員会の苦勞や事務局松山さんの手間をかけずに寄付できます。

いろいろ雑駁な話をしましたが、まとめると

- (1) 現在マイ・ロータリーにアカウントを持ち、ログイン出来る会員は7名で会員の21%程です、さらに多くの会員が便利な国際ロータリーのホームページからマイ・ロータリーにログインできるようにしましょう
- (2) マイ・ロータリーから或いは今日お渡しする申込書でロータリーカード作りましょう
- (3) ロータリーカードで買い物をしその一部で財団に寄付しましょう
- (4) マイ・ロータリーからロータリーカードでロータリー財団に年次寄付をしましょう
- (5) マイ・ロータリーはロータリーのあらゆる情報が満載です。特に奉仕プロジェクト委員長は奉仕の仕方のアイデアを取り出しましょう
- (6) 近々、マイ・ロータリーのアカウントを取得出来るようお手伝いする会を開催します。